

技術講座(Ⅳ) 朗読発表大会 審査講評

2015/03/22 実施

順	結果	講評
---	----	----

7人の審査員が10点満点で採点し、70点満点で評価しました。

44点以上の人を「優秀賞」として表彰しました。

優秀賞まで1～6点の人をA評価、7～12点の人をB評価、13点～の人をC評価

として、「結果」の欄に掲載しています。

審査員からいただいたコメントをまとめ、「講評」のらんに掲載しています。

(参加者 94名)

※ 当日の審査番号順に掲載しています。

個人情報保護のため、学校名・名前の掲載は控えさせていただきます。

大阪府高等学校視聴覚教育研究会

放送コンテスト委員会

技術講座(Ⅳ) 朗読発表大会 審査講評

2015/03/22 実施

順	結果	講 評
1	A	明るく読めている。イントネーションに発音に注意。少しうねりが残る。
2	B	声量が充分出ている。声色は使わず、喉を絞めずに発音するとよい。セリフがドラマ調なので自然に読むとよい。
3	A	サ行の滑舌に注意。マイクに近いので息が聞こえる。高いところから読み始めるとよい。
4	B	マイクの使い方に注意。セリフに感情移入していたが、声色は使わないで、基礎的な部分を大切に表現力を高めてほしい。節だっている。
5	B	口をしっかりと開けてゆっくり読むとよい。単語をしっかりと発音するとよい。間の取り方に工夫を。
6	B	間の取り方に工夫。喉に力が入っているので、声の出し方に注意。文頭、文末まで丁寧に発音しよう。
7		(欠席)
8	B	関西なまりが出てしまっている。内容をとらえて読み方を工夫するとよい。セリフがドラマ調なので自然に読むとよい。
9		(欠席)
10	A	意味のまとまりを意識し、読んでほしい。サ行が曖昧な部分があった。スピードが速い。
11	B	声がかもっているからお腹から声を出するとよい。内容をとらえて、意味のまとまりを意識して読もう。滑舌に注意。
12		(欠席)
13	優秀	長いフレーズをうまく処理できている。落ち着いた読みでよい。原文を意識して翻訳文を読むともっとよくなる。もう少し高い音から読み始めてみてもよいのでは？(低い音、文末が苦しそうに感じる)
14		(欠席)
15	A	発音がよい。声しっかりと出ている。スピードが速い。文末をもっと丁寧に読むとよい。サ行に注意「シ」「ソ」。感情の変化を表す意識を。
16		(欠席)

技術講座(Ⅳ) 朗読発表大会 審査講評

2015/03/22 実施

順	結果	講 評
17	優秀	口を開けてしっかり丁寧に読めている。テンポも間もよい。サ行「ス」「ソ」、鼻濁音に注意。
18	A	マイクの使い方に注意。文頭が強い。地の文、会話文、心中文の差を意識するとよい。スピードが単調。フレージングがよくない。
19		(欠席)
20	A	イントネーションに注意(関西アクセント)。マイクの使い方に注意。文末をしっかり下げるとよい。
21	A	内容は研究できている。声量が十分に出ているが口をしっかり開くとよくなる。イントネーションに注意。メリハリが弱い。声の高低や間で表現できるようにしよう。
22	A	感情の変化をとらえて、もう少し感情を表現できるとよい。カ行、サ行、タ行、の発音に注意。少しスピードが速い。関西アクセントになっている部分がある。
23	A	読み分けの工夫が伝わる。立てるところで、立てられている。意味の伝わらない箇所がある。緩急がよくできているが間の取り方に工夫を。演技がやや強い感あり。滑舌に注意。「ス」音に注意。
24	A	句末が伸びる。意味のかたまりを意識して読むとよくなる。フレーズが短い。自然な発音を意識して。
25	B	サ行が弱い(特に「シ」「チ」)。滑舌、発音に注意。母音を丁寧に。うねりあり。もう少し感情を考えて地の文、会話文を読めるとよい。間の取り方に工夫を。
26	B	息の音が入るので、マイクの使い方に注意。意味のかたまりで読むとよい。間の取り方に工夫を。フレージングに工夫を。
27		(欠席)
28	B	低い声の部分が長いので苦しうに感じる。文末があがるのが気になるので、高い音から読み始めてしっかり下げて止めるとよい。対比を述べる箇所は高低・緩急に気をつけて。
29		(欠席)
30		(欠席)
31	優秀	しっかり発音できている。鼻濁音の努力が感じられるが、耳に残るところがある。意味のかたまりをとれている。間の取り方に工夫を。文末をしっかり下げて止めよう。
32	B	苦手な音が多い(カ行、サ行、タ行)。息のコントロールをできるように発声練習をしっかりしよう。滑舌に注意。

技術講座(Ⅳ) 朗読発表大会 審査講評

2015/03/22 実施

順	結果	講 評
33	B	発声・滑舌はよい。セリフがドラマ調なので自然に読むとよい。読みの基本をしっかり身につけよう。
34	優秀	間、強弱に工夫がみられ、丁寧に読めている。意味のかたまりがとれている。思い入れが強い読み方になっているので、もっと淡々に素直に読めるとよい。
35	A	意味のかたまりがとれている。立てようとする言葉が立っている。タ行、サ行、に注意。セリフのぶつ切れが気になる。少し早口で読みにクセが感じられた。
36	A	読みの一つひとつをもう少し丁寧に。セリフにもう一工夫を。母音を丁寧に。
37	C	ぶつ切れ感あり。滑舌に注意(「バス」)。アクセントをもう一度調べよう(「コンコン」)。作品の情景を理解して伝えられるように。
38	A	発音はクリアでよい。地の文が低い。低音部が苦しそうに感じるので、文頭を高く読み始めるとよい。間の取り方に工夫を。
39	A	セリフ、地の文の読み方が自然。もう少し、間や抑揚に工夫を。ゆっくり読む箇所があると、テンポが生きる。「シ」音に注意。文末を下げよう。
40	優秀	緩急、強弱の工夫ができています。セリフの読み方にもう一工夫できると良かった。タ行、サ行に注意。
41	A	発音は良い。難なく読んでいる。そのため、単調で棒読み調になってしまう。情景を意識しつつ、伝えるように読もう。
42	優秀	変化をつけようとしている。発音も良い。セリフの読み分けもできている。少し、セリフにドラマ調の感がある。読点で切りすぎて意味が伝わらない。タ行に注意。
43	B	そつなくこなしたが、発音と文末処理が少し甘い。「なぜ」の滑舌、間の取り方に工夫がほしい。うねりあり。読点ではなく、意味を考えて切ろう。カ行に注意。
44	B	発音は良い。少し速い。文と文との間を考えて情景が伝わる間を工夫しよう。「子どもたちの思い」を工夫して伝えてほしい。最後まで気を抜かずに。
45		(欠席)
46		(欠席)
47	B	マイクに声に乗っていないのがもったいない。一語一語をもっと丁寧に、聞き手を意識して読もう。発声、滑舌など基本的なこともしっかり練習しよう。全体的にやや暗め(特に地の文やささやきの場所)。
48	B	テンポよく読めている(もう少しゆっくりでも良い)。メリハリがなく、単語が不明瞭。サ行、タ行、ラ行に注意。セリフが人物を表現できていない。

技術講座(Ⅳ) 朗読発表大会 審査講評

2015/03/22 実施

順	結果	講 評
49		(欠席)
50	優秀	音の幅があり、全体的には良い。意味のかたまりを考えて読むこと。読点がない部分の間の開け方、「キチンと並べられて…」の区切りを再考しよう。セリフが少しドラマ調に聞こえる。
51	A	セリフの読み方や意味のかたまりを考えた読み方に工夫がみられる。高い声が使えらるともつと幅が広がる。同じシーンの連続があると読みの粗さが出てしまう。「手際」「これは」「私たちは」の「ワ」が「ヤ」に聞こえる。そもそも男声に向いている箇所ではないのでは…。
52	C	声は出ているが、息が浅く苦しそう。マイクが近いためか息継ぎまで聞こえる。この作品にはそんなに元気な読みは必要か考えて読もう。お経のリズムのようでただ読んでいるだけの感あり。意味が伝わってこない。基本的な練習をしっかりとしよう。
53	B	発音が良く意味のまとまりが伝わる。「かつては」の並列部分は良く読めている。客観描写の裏にある思いをすくい取って読めれば情景が伝わる。
54	A	間の取り方に工夫あり。意味のかたまりが捉えられている。少しうねりが残る。立てたいところをもっと積極的に立てて読もう。意味の伝わらない箇所があった。文末に注意(少しあがる)。
55	B	読み方が一定でただ文字を声に出しているだけに聞こえる。意味のかたまりや情景を意識して、イメージをしっかり持って聞き手に伝える朗読を。発声練習をしっかりとしよう。
56	優秀	良く通る声で発音も良い。少しアナウンス的？ マイクが近いのか、やや吹かれが気になる。文末が少し上がる。
57	B	落ち着いて間をしっかりと取りセリフも丁寧に表現できている。一方で、まじめな読みすぎて少し単調になってしまう。もう少し大胆に声を出してテンポがあっても良いのでは。地の文、イメージをしっかり持って人物像が伝わる読み方を。
58	B	番号の発声は良かったが、本文がささやきになってしまった。もっと声を出して。一本調子なので読点に捉われず意味のかたまりで読もう。
59	A	明るい声でテンポに工夫がみられる。雰囲気がある。セリフが少しドラマ調。低い音に震えがある。サ行に注意。
60		(欠席)
61	A	セリフの処理に工夫がみられるが、垣内君と女のセリフバランスが悪い。意味のかたまりを意識しよう。地の文の響きが弱く特に語尾が弱くなる傾向がある。最後まで声を出そう。
62	A	発音が良い。情景を伝えるまであと一歩。意味のかたまりを考えて読んでいる。テンポが弱い。垣内君のセリフ、イメージがつかめるよう丁寧に読もう。
63	B	全体的にトーンが低い。一方でセリフが高く、差が大きすぎる。セリフの表現を工夫しよう。そのためには、まず人物像をしっかりつかむことが大切。うねりあり。ラ行に注意。
64		(欠席)

技術講座(Ⅳ) 朗読発表大会 審査講評

2015/03/22 実施

順	結果	講 評
65	B	明るい声で、内容にあっている。登場人物の気持ちを考え、伝える工夫をすればもっと良くなる。垣内君、とてもいやそうに話す。語尾があいまいになっている。最後まで息を出して。サ行に注意。
66	優秀	発声はしっかりしている。丁寧に読めている。読点の前が少し上がる。セリフが思わせぶり過ぎ。語尾が消えかかっている部分がある。
67	A	意味のかたまりは意識できている。情景描写の部分を次々と読んでるので内容を加味した表現方法を工夫してほしい。口先だけで読んでいる。腹からしっかり発声を。
68	A	意味のかたまりは理解できている。伝えようとする読み方ができている。ささやき声はもう一つ。地の文で消えるところや早口のところがあるのが残念。もう少し、メリハリがあっても良いのでは。
69	B	古典なのでもっとゆっくり意味が伝わるように読もう。文末を丁寧に。和歌は歌わなくてよい。低く入りすぎ。
70	A	良い間の取り方で意味は伝わる。一つ一つの音を丁寧に、もう少し声を前に出して読もう。「てけり」の文末が上がっている。古典なのでもっとゆっくり読もう。
71	優秀	テンポは良い。自分なりに内容を解釈しようとしているのが伝わる。読点の扱いを見直すと良い。「お水」工夫している。少し早口を感じる。句末が伸びる部分がある。切り方をもっと意味に合わせて良くなる。後半イントネーション不明瞭だった。
72		(欠席)
73	A	声の響きが良い。もう少しゆっくり読むと良くなる(特に後半あわてていた)。地の文がやや棒読みで、情感伝わるよう工夫を。「胸毛」の「ゲ」が弱い。文末が聞こえない。
74	A	声は明るく良く出ている。響きもよく、立てようとしているところも良くわかる。セリフにもう一工夫ほしい。キャラクターに統一感がない。「とつぜん」が粗い。子供たち「は」が「や」に聞こえる。
75	A	声が良く出ている。内容をとらえて読めている。テンポも良い。うねりがある。セリフ少しドラマ調。地の文で大切な言葉は何か考えてもう少し丁寧に読もう。緩急をつけた読み方ができればより良くなる。
76	優秀	声が良い。少しマイクから遠い? もっと声を大胆に出すと良い。鼻濁音の練習をしよう。地の文は抑揚より間が大切。キャラクターの区別がつきにくい。
77	A	発声がしっかりしている。並列表現も良い。一方で、おとなしすぎに感じるのも、もっと大胆に声を出すとも良い。間の取り方に工夫を。切るところは句読点に捉われず意味で考えよう。「かつては」が「かふては」に「うつろな」が「うちゆるな」に聞こえる。情景が見えにくい。
78	優秀	基本通りに読もうと努力しているのがわかる。発声も良い。意味のかたまりも理解できている。やや大げさすぎて、深刻感を出し過ぎている。もう少し客観的に読もう。「かつては～」と間延びして聞こえる。以後の対句表現が声のトーンが違う。
79	優秀	発声が聞きやすく丁寧な読み。情景を考え人物が見える読み方を工夫しよう。垣内君のセリフにもう一工夫。少しうねりが残る。「タナ」の「ナ」が聞こえにくい。「見あわせて」のアクセントに注意。
80	B	番号が「ハチジューバン」に聞こえる。早口で発音が甘い。語尾が伸びがち。うねりあり。丁寧に、メリハリをつけて情景が浮かぶようゆっくり読むと良い。切るところは意味を考えて。

技術講座(Ⅳ) 朗読発表大会 審査講評

2015/03/22 実施

順	結果	講 評
81		(欠席)
82	B	地の文とセリフの文の区別が分かりにくいので間の取り方で工夫しよう。「七時」「私たちは」の発音が甘い。ラ行に注意。一つ一つの音を丁寧に、もう少しゆっくり読むと良い。
83	A	声が良く、落ち着いて丁寧に読めている。意味を考えて読めている。読点にこだわらず、意味のかたまりを考えるとより良い(「色の黒いおじさん」はひとまとまり)。サ行(特に「シ」)に注意。間をうまくとって地の文とセリフの文を工夫すると良い。語尾が伸びるところがあるので注意。
84		(欠席)
85	B	声が素直に出ていない。息継ぎの場所を確保する必要がある(長文だと息が続いていない様子が伝わってくる)。番号の後、セリフの後にも間をもう少しとってほしい。セリフがドラマ調。アクセントに注意「てぎわが」「たなに」など。関西アクセント。
86	B	声は良いのもっと大胆に出すと良くなる。やや早口。一本調子なので大切な言葉が何かを考えて緩急をつけよう。「種子」に注意。
87	A	間の取り方は良い。もう少し大胆に声を出そう。アクセントが平板になる癖がある(「狼狽しました」、「出てきて」など)。文末をもう少し丁寧に(文末の「た」)。サ行に注意。
88	B	間の取り方には工夫がみられる。一音一音の発音が強調され過ぎていて大きさに聞こえ、聞き取りづらい。うねりがある。フレーズを長くとり、情景を考えて読もう。口を開いてもう少し滑舌の練習をしよう。助詞を丁寧に。
89	B	全体としてトーンが低く、明るい内容と合わないように感じる。音量を誤魔化すためにマイクに近寄るとリップノイズが入るので注意。垣内君がロボットのように聞こえる。間の取り方が単調でスピードが一定になっていので間の取り方を工夫しよう。
90	A	一つ一つの情景を丁寧に読もうとしている。一方で少し大きさに聞こえる。もう少し客観的に何を伝えようとしているのかを考えて読もう。「カワキ」が「カーキ」に聞こえる。
91	B	聞きやすい発声だがメリハリが甘く、ハキハキした発声を心がけよう。語尾が伸びたり、読点での間が少し長く、意味が伝わりにくい。アクセントを確認しよう(「ねむり」「しらずに」「はたらいた」など)。
92	B	良い声で、セリフを工夫しようという気持ちはわかるが、少し作られ過ぎの感がある。声色よりも間で表現できると良い。マイクに少し近い。文末や助詞が強くなり少し上がる癖がある。語尾も伸びる傾向がある。
93	B	全体的に淡々としているので単調に聞こえる。読点で切るのではなく、意味を考えて間を取ろう。情景が描けるような読み方を工夫しよう。声がこもって聞こえるのもっと大胆に声を出そう。「本屋さん」が聞き取れない。垣内君がロボットに聞こえる。
94	A	いい声で良く通る。ゆっくり丁寧に読んでいる。不自然に、ゆっくりな部分や間が多すぎる箇所があり、機械的に聞こえてしまう。セリフの表現に工夫がほしい。内容の解釈に不可解なところがある(どこのおじさんか)。
95	B	「95番」のアクセントに注意。落ち着いてテンポを考えて読めている。音量不足で全体的に暗く聞こえる。大胆に声をだそう。セリフと地の文の区別が分かりにくい。間の取り方でセリフが示せるように工夫しよう。「ごはん」のアクセント、鼻濁音に注意。
96	A	意味のかたまりを考えた間の取り方が良い。一方でブツ切れ感が出てしまったところもあり、流れが途切れてしまう。大切な言葉を立てて読むともっと良くなる。文章の後半が急に低くなり語尾が弱くなる。小さくまとまってしまうのもつたいない。

技術講座(Ⅳ) 朗読発表大会 審査講評

2015/03/22 実施

順	結果	講 評
97	A	意味のまとまりを考えて読んでいる。長い一文の切り方を工夫しよう。平板でメリハリがないので意味が伝わりにくい。セリフの表現を考えよう。サ行に注意。
98	A	ハリのある声で聞き取りやすい。少し鼻にかかったように聞こえる？ 少しうねりあり。地の文の表現や切り方に工夫がほしい。ぶっきらぼうで単調になってしまう。内容を考えて伝えるようにしよう。少し口が回っていないところがある。
99	優秀	意味をとらえて情景を伝える読み方ができている。読みも素直。ポーズや緩急にもう一工夫を。「え入らで」の読みを確認しよう。
100	A	わかりやすい読み方だが、小さくまとまりやや一本調子。おじさんの人物像が伝わるように話そう。「なぜ」の読みが全体のバランスに合わない。内容の解釈をさらに進めよう。
101	優秀	発声が良い。地の文の情景に気を配った読み方が良い。長い一文の読み方が課題。少しうねりが残る。滑舌の悪いところあり。「胸毛であったのれすが」に聞こえる。
102	優秀	聞きやすい発声で声量も十分。セリフの読み方については賛否両論(声色は不要、そこまで読む必要はない/セリフに情感あり、議員の最後のセリフ良い)。
103	B	落ち着いた読みに聞こえる。フレーズをもっと長くとり、一本調子にならない読みを考えよう。練習不足の感あり。語尾が消える。「ねむり」「たえず」「かつて」などが読めていない。
104	B	意味のかたまりを意識はしているが、読むのではなく伝わるように話してほしい。一本調子。滑舌や発音に甘さがある。文末が下がりきらない。タ行に注意。
105	B	「ごばん」のアクセントに注意。声量がある。ぶつ切り感がある。意味のまとまりを考えて間を取る。地の文を丁寧に読むことで情景が伝わる。文末が下がりきらない。発音に甘いところあり。
106	B	ぶつ切りで意味が伝わらない。語尾が弱くなる。最後までしっかりメリハリをつけよう。セリフと地の文は間を工夫することで区別できる。明るいセリフなので登場人物の描写を考えて読もう。垣内君の存在がない。
107	B	口角をあげて読んでるのは良い。マイクに近い。一文を切りすぎている。意味が伝わる間の取り方を練習しよう。助詞を伸ばす癖がある。語尾が伸びてしまう。サ行(特に「シ」)に注意。「きちんと」「あたたかい」が読めていない。練習不足が感じられる。
108	A	発音が良く、意味のかたまりを考えられた読み。マイクと口の位置がずれている？ 少し単調に聞こえる。鼻濁音、滑舌に注意。「えらかった」が関西アクセント。
109	A	しっかりした発音で情景が浮かび上がるように読もうとしているが、意味のまとまりがつかめていない。リズムが単調。文末の切り方が雑になったり強くなったりする箇所がある。
110		(欠席)
111	優秀	自然な読みでしっかり発声している。意味のかたまりを考えられた読み。少しうねりが残る。間に工夫がほしい。それが分かればもっと伸びる。
112	A	間の取り方に工夫がみられる。登場人物の状況が伝わる。形容詞を強め過ぎ(「黒い」、「遠く」など)。鼻濁音が強い。うねりあり。後半ささやきになっている箇所がある。文末の「カ」、「どうして」の「オ」に注意。